

第 2 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.02
	世界の生活と環境			

[問題 1]

右の写真の人々はカナダ北部に住んでいる。この人たちの暮らしについて、次の各問いに答えよ。



- (1) カナダ北部に住み伝統的な暮らしをしている右の写真の人たちのことを何と
いうか。カタカナで答えよ。
- (2) 彼らの暮らしを説明した次のア～エの文のうち、間違っているものを 1 つ選べ。
ア 彼らは伝統的に犬ゾリを移動に使い、カリブーやアザラシを狩って生活していた。
イ 狩りで得たものは、肉以外の部分も余すことなく使ってきた。
ウ 伝統的な住居として、丸太でできたロッジに住んでいる。
エ 現在では近代化の影響で、移動にもスノーモービルが使われるようになった。
- (3) カナダ北部のように、1 年じゅう雪と氷におおわれた場所を何帯というか。

[解答欄]

(1) イヌイット	(2) ウ	(3) 寒帯
-----------	-------	--------

[解説]

(2) ウが誤り。イヌイットが生活するカナダ北部は、樹木の育たない寒帯であるので、伝統的な住居に丸太を使うことはなかった。

[問題 2]

写真を見て、各問いに答えよ。

- (1) 次の文章にあてはまる語句を答えよ。
写真は、冬の寒さに強い、まつ、もみ、白樺などからなるシベリアを代表する広大な(①)の森林で、このような森林は(②)とよばれている。
- (2) 写真のような森林の下には、1 年じゅう凍ったままの土がある。このような土を何というか。



[解答欄]

(1)①針葉樹	②タイガ	(2) 永久凍土
---------	------	----------

[解説]

冷帯(亜寒帯)は冬の寒さが厳しいが、短い夏には気温が上がる。

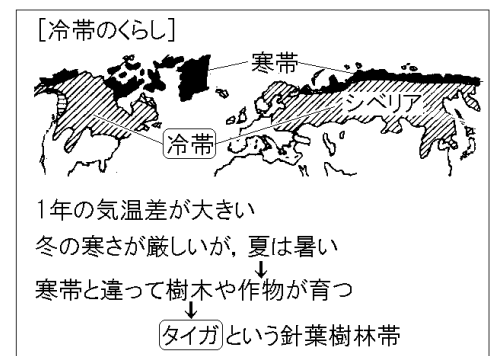
1 年の気温差が大きいのが冷帯の特徴である。

夏が暑いので、寒帯と違って樹木や作物が育つ。

シベリア、カナダ、アラスカなどではタイガとよばれる針葉樹林帯が広がっている。

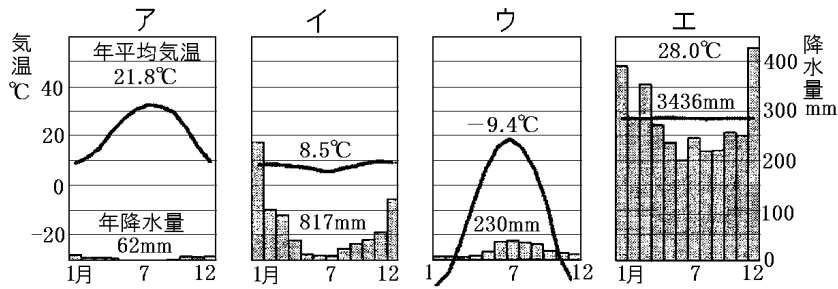
日本では北海道が冷帯(亜寒帯)の気候である。

森林の下には、1 年じゅう凍ったままの永久凍土がある。



[問題 3]

シベリアの地域の雨温図としてあてはまるものを、下から 1 つ選べ。



[解答欄]

ウ

[解説]

[雨温図の判断]

・まず、乾燥帯、寒帯かどうかを判断

- 乾燥帯：降水量が少ない
- 寒帯：最暖月 10°C 未満

↓

・熱帯、温帯、冷帯は最寒月に注目

- 熱帯：最寒月 18°C 以上
- 温帯：最寒月 -3°C ~ 18°C
- 冷帯：最寒月 -3°C 未満

(ケッペンの区分法による)

雨温図がどの気候帯のものであるかを判断するためには、まず、樹木の育たない乾燥帯と寒帯を見分ける。

乾燥帯は降水量が極端に少ないために樹木が育たない。

降水量が少ないアは乾燥帯のものである。

寒帯は 1 年じゅう寒い(最暖月が 10°C 未満)ために樹木が育たない。

雨温図ウは気温が低い、夏の気温が 10°C をこえるので寒帯ではない。

乾燥帯と寒帯をのぞいた 3 つの気候帯(冷帯、温帯、熱帯)を見分けるには、最寒月の気温に注目する。

最寒月の気温は、冷帯は -3°C 未満、温帯は -3°C ~ 18°C、熱帯は 18°C 以上である。

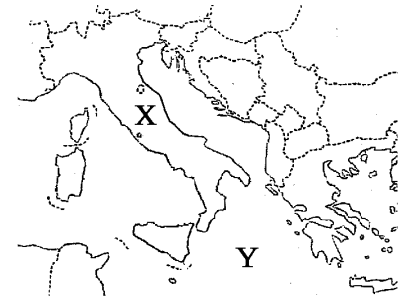
したがって、ウは冷帯、エは熱帯の雨温図であると判断できる。

イは年間の気温差が少なく、気温が低いことから高山気候であることがわかる。

【問題 4】

次の各問いに答えよ。

- (1) 地図の X の国名と、Y の海洋名をそれぞれ答えよ。
- (2) 次の文章は X 国の気候を説明したものである。①～④にあてはまる語句を答えよ。
 (①)は乾燥するが、(②)は比較的雨がふり温暖である。
 乾燥に強いぶどうや(③)が栽培される。X の国の食事には、ぶどうからつくった(④)や、(③)の実をしぼった(③)オイル、トマトが欠かせない。
- (3) X 国の気候は温帯の中でも何という気候に属するか。
- (4) X の国の中部は日本のどの地域と同じくらいの緯度か、次の[]から選べ。
 [北海道 東京都 鹿児島県]



【解答欄】

(1)X イタリア	Y 地中海	(2)① 夏	② 冬
③ オリーブ	④ ワイン	(3) 地中海性気候	(4) 北海道

【問題 5】

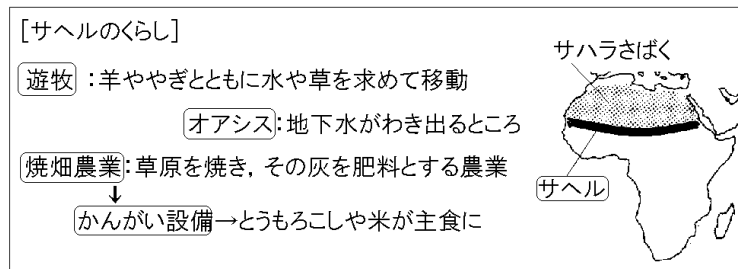
乾燥帯の暮らしについて、次の各問いに答えよ。

- (1) サハラさばくのふちのことをサヘルという。サヘルに住む民族の中でもトゥアレグ族とよばれる人々は、家畜とともに移動して生活をしてきた。このような牧畜を何というか。
- (2) サヘルの人々は伝統的に焼畑農業をして作物を育ててきた。焼畑農業について説明した次のア～エの文の中で間違っているものを 1 つ選べ。
 ア 草原を焼き払って畑を作り、焼いてできた灰を肥料として活用する。
 イ ひえやあわ、米などの乾燥に強い作物をつくってきた。
 ウ 現在はかんがい設備の整備によって作られる作物も変化してきている。
 エ この農法を同じ場所でやり続けると、その土地がさばく化してしまう危険がある。

【解答欄】

(1) 遊牧	(2) イ
--------	-------

[解説]



アフリカ北部のサハラさばくの南のふちに広がる地域をサヘルとよぶ。

サヘルに住む民族の中でもトゥアレグ族とよばれる人々は、乾燥に強い羊ややぎとともに水や草を求めて移動して生活する遊牧をおこなってきた。

サハラさばくでは、水がわき出るオアシス以外では樹木はほとんど育たない。

しかし、サヘルでは少ない雨を利用し、草原を焼きその灰を肥料とする焼畑農業で、ひえ、きび、もろこしなどの穀物を作ってきた。

ブルキナファソでは、かんがい設備の整備によって、とうもろこしや米が主食になった。

[問題 6]

赤道直下の沿岸部では、どのような森林が見られるか。次の[]から1つ選べ。

[ステップ タイガ ツンドラ マングローブ]

[解答欄]

マングローブ

[問題 7]

南太平洋の地域には、海拔 2m の島国がある。地球温暖化により水没が危ぶまれているこの国の名前を書け。

[解答欄]

ツバル

[解答]

[解説]

[熱帯の生活:ツバル]

住居:高床, 壁がない

(風通しを良くして熱や湿気をふせぐため)

燃やせないごみが増えている

ツバルの気候は年じゅう高温で雨が多い熱帯で、熱帯林が茂っている。

住居は高床式で壁がなく、屋根は木の葉を重ねてつくられている。

これは、風通しを良くして熱や湿気がこもらないようにするためである。

近年では外国から輸入製品や文化が入り、コンクリートの家も増えたりしているが、プラスチックなど燃やせないごみが増えていることが問題となっている。